

令和3年11月26日（金）、今回で2回目となる兵庫県老連女性・若手委員会と京都府老連女性委員会との交流会が、京都府八幡市の八幡市立老人憩の家「八寿園」で行われました。

交流会には、事務局を含め、兵庫県老連から12名、京都府老連から11名が参加しました。

交流会では、双方の老連の取組状況の報告に加え、地元八幡市老連の皆様による日本舞踊や社交ダンスの練習を見学させ

ていただき、両府県の参加者も一緒にになって、踊りや日舞に参加しました。

その後、会場を変え、紅葉真っ盛りの宇治の平等院や、京都市内の山科にある將軍塚から、京都市内を一望し、この取り組みを定例行事とすることが確認されました。



秋深い京都を訪ねて

京都府老連若手委員会との交流事業



魅力ある老人クラブ活動に

令和3年12月3日（金）、京都府老連「若手委員会設立10周年のつどい」が開催され、中村会長が参加しました。

つどいでは、式典の後、「これからの魅力ある老人クラブ活動」と題したシンポジウムが開催され、大北大阪市立大学講師の基調講演

の後、京都府老連・京都市老連・兵庫県老連の代表者がパネリストとして加わり、意見交換を行いました。

その後の交流会では、大阪府老連の代表者も加わり、交流を深めました。アトラクションでは、タップダンスを健康運動として捉え、足腰の衰えや認知症予防のプログラム作りを目指している活動事例を見学しました。

灘の名酒を生む宮水井戸に感激



令和3年12月17日（金）、今回で5回目となる兵庫県老連女性・若手委員会と大阪府老連若手委員会との交流会が、西宮市民会館で行われました。

交流会には、事務局を含め、兵庫県老連8名と大阪府老連の9名が参加しました。

交流会では、「with コロナの時代における老人クラブ活動のあり方」をテーマに、代表発

表・グループ討議・グループ発表を通して情報・意見交換を行いました。

午後からは、地元西宮郷の酒蔵の町並み見学を実施し、白鷹・白鹿などの銘酒の味わいを決める「宮水井戸」の厳重な管理の様子や、試飲などもお楽しみいただき、最後に、西宮神社に参詣するなど交流を深めました。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています

